

ささやき

手話との出会い

医師 藤井 久彌子

—誰かと話すとき、その人を見ずに話していることがあった— 手話を用いて会話をしようとするとき、必ず相手と目を合わし話すことになる。その当たり前のことを、手話を知って改めて私は知ることになった。また、以前口では楽しかったと言いながら、笑顔でなかったのか、「楽しそうに見えない」と言われたことがある。きっと心の中に、楽しかったという思いが、少なかったからかもしれない。手話を知って、楽しいと指で伝えようとするとき、楽しい顔にならなければ、その「楽しさ」は伝わらない。反対に、相手が楽しいと言っている、楽しい顔でなければ本当は楽しくはなかったのかもしれないと察する必要があるのかもしれない。

手話に限定しなくても、感じたことや思ったことを伝えること、これは、本当に難しいことだと思う。そして、自分以外の人を感じたことや思ったことを正確に理解するのは、もっと難しい。そこには人としての価値観やそれまでの経験、そしてその人となりなどが関与してくるから、同じ事柄でも違った体験になることに、生きていくと少なからず遭遇する。ある小説家の書籍によく出てくるテーマとして、想像力というのがある。さまざまな事柄が起こった時に、いかに想像力を働かせることができるか、これはとても重要なことだと思う。きっとこの想像力というものは、相手の感じたことや思ったことを理解することに、一役、いやそれ以上の大きな役目を果たしているように思う。最近、つくづくそう思うようになった。そして手話にも想像力が大事だと、手話を習いたての初心者の私には感じられる。

まだ小さな頃に、歌手のキャンディーズの春一番という曲を、手話で歌おうと試み、当時「歌える」ようになった。どういった経緯でそうなったのかは、記憶の外へいつてしまったが、かすかな手話の単語の記憶だけが残っていたところ、琵琶湖病院へ赴任し手話に再会した。手話との再会を介して、私はいろいろなことを振り返る機会を得ることになった。縁というのは、そういうものかもしれない。

☆最近のトピックス

- >6月18日 札幌にて日本集団精神療法学会がありました。
一般演題で「外来通院中のろう者を対象とした集団両療法」と言う題で、心理士・古賀が講演してきました。
- 6月25日 京都市の大山医院にて「聞こえの教室」がありました。
医師・藤田が聴覚障害外来の話をしてきました。
- 7月2・3日山口県手話通訳研究会において、「ストレスについて」と言う題で、医師・藤田が講演してきました。
- 8月20日 秋田市にて「聴覚障害者の精神保健に関する講演会」があり
医師・藤田が「聴覚障害者外来の10年間」
心理士・古賀が「グループ精神療法」と言う題で講演してきました。
- 8月～9月の6日間滋賀医大より見学者が来られます。

作業療法士としてスタートを切り、緊張の毎日を送っていたある日、担当することになった依頼箋には聴覚障害の文字が書かれていました。その瞬間、(手話はできないし、どうしよう…)と戸惑いました。そして初対面の日、実際会うと筆談ももどかしく、身振り手振りで話をしていました。筆談は時間がかかる上に目と目を合わせることができません。距離がとても遠く感じました。直前につめこんだ指文字を使うつもりでしたが、いざ使ってみるとなかなか思い出せません。焦っていると、相手にそれが伝わったのか、趣旨をくみ取り、逆に私に手話を教えて下さいました。面接終了後、手話だったらもっと色々話せたかもしれないと思いました。

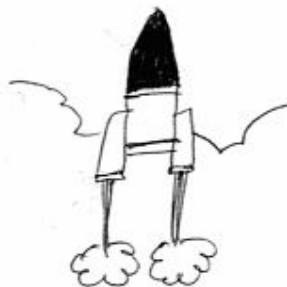
以前に習ったことがあるかもしれない指文字ですが、今後は手話も少しずつ覚えてもっとたくさんお話が出来たら、と思います。

『 偶然の出来事 』

今年の春ころのことですが、新横浜駅で、中高生らしい女の子に不安そうな表情でこえをかけられました。しかし、その内容が、聞き取りにくく、様子から聴覚障害をお持ちである事に気づきました。ためしに、手話で「どうしたの?」と尋ねてみると「手話出来るの?」と驚いた表情で返されました。すぐに、手話で「待ち合わせしているのだけど、〇〇改札口がどこか分からない」とのこと。手に持った小さなノートには、「〇〇改札口はどこですか?」と書いてありました。私は、関西から来ていたので地理に詳しくなく、すぐに説明できず申し訳なかったのですが、女の子の待ち合わせ相手の方と携帯のメールで位置確認しながら、一緒に目的地を探しました。その間「どうして手話出来るの?」「どこから来たの?」など、お互い色々手話で話しました。

普段、琵琶湖病院では、朝の申し送りを手話でやっている事、週1回の手話勉強会など知っている限りの手話と指文字で一生懸命伝えました。すると、女の子から「あなたの手話は、分かりやすいよ」と笑顔で言ってもらい気を遣って言ってくれたのかもしれませんが、とても嬉しかった事を、今回このコラムの原稿をかくにあたって思い出しました。偶然に起こった出来事でしたが、これからも1つ1つのたくさんの人・又物との出会いを大切に毎日を過ごしていけたらと、思いました。

~わんぽいんと手話~



『ロケット』

左手手首から右手の指を開いたりつまんだり

させながら下におろしていき

左手は指文字「ホ」の形で上にあげていく。

『編集後記』

今年も暑い日々が続いています。熱中症などには気をつけましょう! (は)